

軽井沢彫家具について

沿革 1908年 明治41年 二軒の店が 彫刻家具の製造販売を始める
1983年 昭和58年 軽井沢彫長野県伝統的工芸品に指定
2000年 平成12年 西洋古典家具研究会設立
2009年 平成21年 ~平成23年
軽井沢彫のブランド化支援事業
2014年 平成26年 JAPAN ブランド戦略策定支援事業採択
2015年 平成27年 JAPAN ブランド確立支援事業応募に向け
国指定の伝統的工芸品 申請準備中

事業所 組合加盟は4軒 一彫堂、シバザキ、内堀木工、大坂屋家具店
他に清水家具店 以上5軒

従事者 およそ40名

材料 国産材~トチ、シナ、桂、ナラ、ホホ、セン、タモ
北米材~ブラックチェリー、ブラックウォルナット
ハードメイプルなど
南洋材~アガチスなど

消費者ニーズの多様化に対応するために家具材にシフト
顧客の要望に対応する為にオーダーメイド方式を取り入れる

塗装 ウレタン塗装が多いがオイル仕上げもある

着色 オイルステン系、草木染系

市場規模 . . 関東~東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬
東海~愛知、静岡
近畿~京都、大阪、神戸
軽井沢町

催事 仙台藤崎から福岡岩田屋。主要デパートで年間およそ20回